

歴史(独立の回復)

1950年に①朝鮮戦争が始まると、日本全土や沖縄のアメリカ軍基地が使用され、大量の軍需物資が日本で調達されたため、日本は好景気(②バブル)となった。また、アメリカ軍が出兵すると、GHQの指令で③警察隊がつくられ、それが強化され、1954年には④自衛隊になった。

1951年、⑤片山内閣は、アメリカなど48か国と⑥サンフランシスコ条約を結び、それと同時に、アメリカと⑦日米条約を結んだ。しかし、日本国内では、アメリカの冷戦政策などを批判する社会党が⑧保守隊や⑨自由隊に反対した。その一方、アメリカの冷戦政策を支持する勢力は、1955年に⑩自由党を結成した。⑪自由党は、社会党と対立しながら、38年間政権をとった(⑫自由)。また、1960年、アメリカと新しい⑬日米条約を結ぶときには、それに対して激しい反対運動(⑭安保)が起きた。